

UKI CAREER Hub.

宇城市
キャリアアップ支援施設

基本計画書

01

計画の基本概要

計画の基本概要	・・・ 4
宇城市の課題	・・・ 5
施設整備の目的と基本的役割	・・・ 7
コンセプトと目指す姿	・・・ 8

02

施設の基本方針

基本方針4か条	・・・ 10
施設が備える機能	・・・ 11
施設概要・ゾーニング(案)	・・・ 12

03

運営体制と連携施策

想定運営体制(産学官連携)	・・・ 17
アウトリーチ施策案(4フェーズ)	・・・ 18
想定プログラム・コワーキング	・・・ 19
施設利用前後のフロー	・・・ 20

CHAPTER 1

計画の基本概要



※画像はイメージです

計画の基本概要

本市の地方創生総合戦略では「ここがいい。ともに過ごすまち 宇城」を地域ビジョンに掲げ、①こどもの笑顔をつくるまち、②住みよく安心できるまち、③活力ある魅力的なまち、④多様な人々の流れをつくるまち、の4つの基本目標の実現を目指している。

これらは、単に人口規模を維持することを目的とするものではなく、市民一人ひとりが地域に誇りと愛着を持ち、将来にわたって安心して暮らし続けられる地域を形成することを目指すものである。特に、「活力ある魅力的なまち」及び「多様な人々の流れをつくるまち」の実現においては、地域経済を支える安定的な雇用の確保と、多様な人材が地域に関わる仕組みづくりが不可欠である。

本市は、農水産業や製造業など地域資源を活かした産業基盤を有する一方で、都市部と比較すると職種の選択肢が限られており、若者や女性が希望する働き方を地域内で実現しにくいという構造的課題を抱えている。

また、結婚・出産・育児・介護といったライフステージの変化により、フルタイム勤務や通勤を前提とした就労が困難となる層についても、地域内で能力を発揮できる機会が十分に確保されていない状況にある。

このような中、デジタル技術の進展により、業務のオンライン化やリモートワークが普及し、地理的制約を超えた就労形態が社会全体で拡大していることは、本市にとって新たな可能性をもたらしている。

従来であれば都市部に移動しなければ従事できなかった業務についても、地域に居住したまま関与できる環境が整いつつあり、地方においても都市部と同等の就労機会を得られる時代へと移行しつつある。

本市が目指す将来像は、こうした社会変化を的確に捉え、地理的条件や生活環境の優位性を活かしながら、「住む場所」と「働く場所」が必ずしも一致しなくてもよい地域構造を構築することである。若者や女性が地域に居住しながら、地域産業のみならず、地域外の企業や組織ともつながりを持って働くことができる環境を整えることで、人口流出の抑制と関係人口の創出・拡大を同時に実現し、地域に新たな人の流れを生み出すことを目指す。

本事業は、本市総合戦略に掲げる「活力ある魅力的なまち」及び「多様な人々の流れをつくるまち」の方向性と整合するものであり、地域における人材の育成と活躍の場の確保を通じて、地域経済の基盤強化を図る取組である。若者や女性が地域に根差しながら自らの能力を発揮できる環境を整えることは、地域定着を促進するのみならず、市外へ転出した人材が再び地域と関わる契機ともなり得る。

さらに、地域内で育成された人材が、農水産業や製造業をはじめとする既存産業の高度化や新たな分野への展開に寄与することで、地域産業の付加価値向上が期待される。こうした取組を積み重ねることにより、市民所得の向上と地域経済の好循環を生み出し、「働く場があるまち」「人が集い、循環するまち」という将来像の実現につなげていくものである。

宇城市の課題

若年女性の流出

本市では、2020年時点における総人口は57,032人、15歳未満人口は7,215人と、少子化の進行が顕著である。さらに、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、2050年には20歳から39歳の女性人口が、2020年の4,992人から3,211人へと減少し、**約35.7%の大幅な減少**が見込まれている。

この背景には、進学や就職を契機として若者や女性が都市部へ流出する傾向が継続していることに加え、地域内で希望する働き方や将来像を描きにくい雇用環境があることが挙げられる。また、育児や介護などの家庭事情により、就労意欲がありながらも就労に至らない層が一定数存在し、世帯所得の低下や将来設計への不安が、出生数の減少にも影響を及ぼしている。

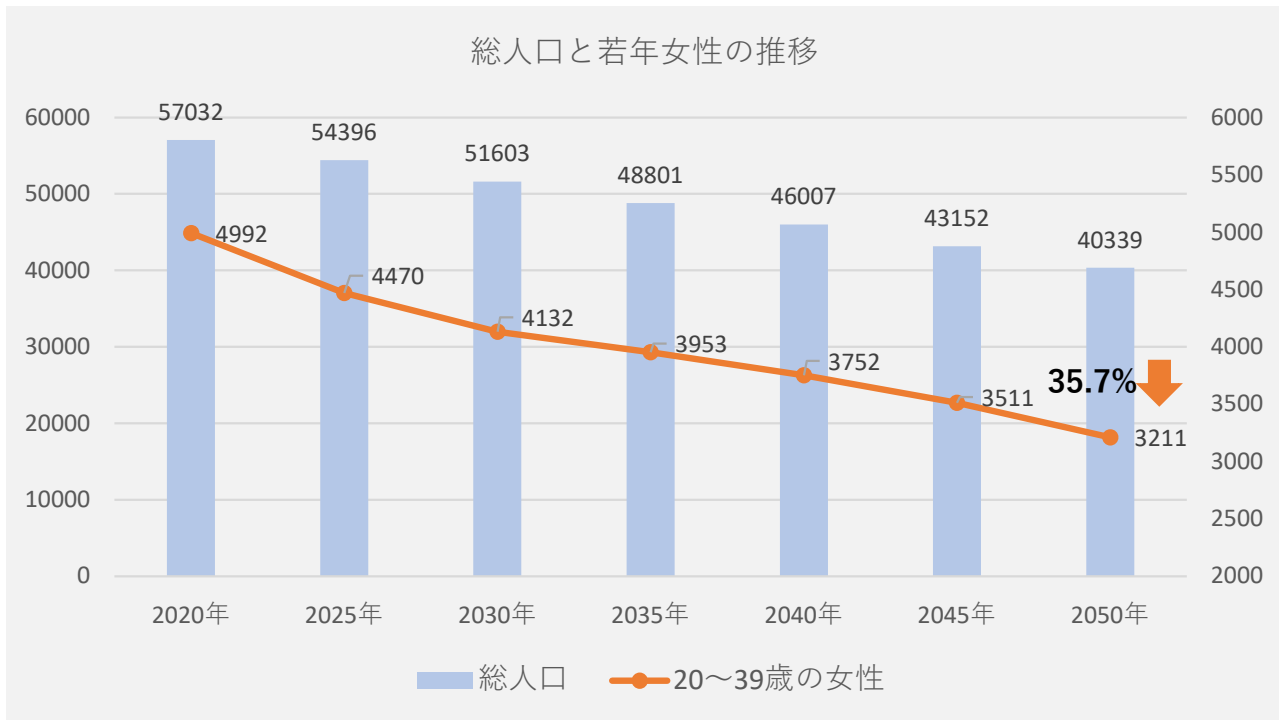


図1 総人口と若年女性の推移

※国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口令和5(2023)年推計より作成

所得格差

若年層が本市に留まる、あるいは転入を検討する上での最大の障壁となっているのが、「経済的基盤」である。本市の一人あたりの所得が全国平均の約8割、県平均を下回る水準にあり、地域全体として雇用機会および賃金水準に問題を抱えている。

この格差は、単なる家計の苦しきだけでなく、「自己実現の機会の喪失」や「将来の不安」として若年世代に重くのしかかっている。

市内に魅力的な高所得案件が乏しい現状が、意欲ある若者の市外流出を招く構造的な要因となっている。

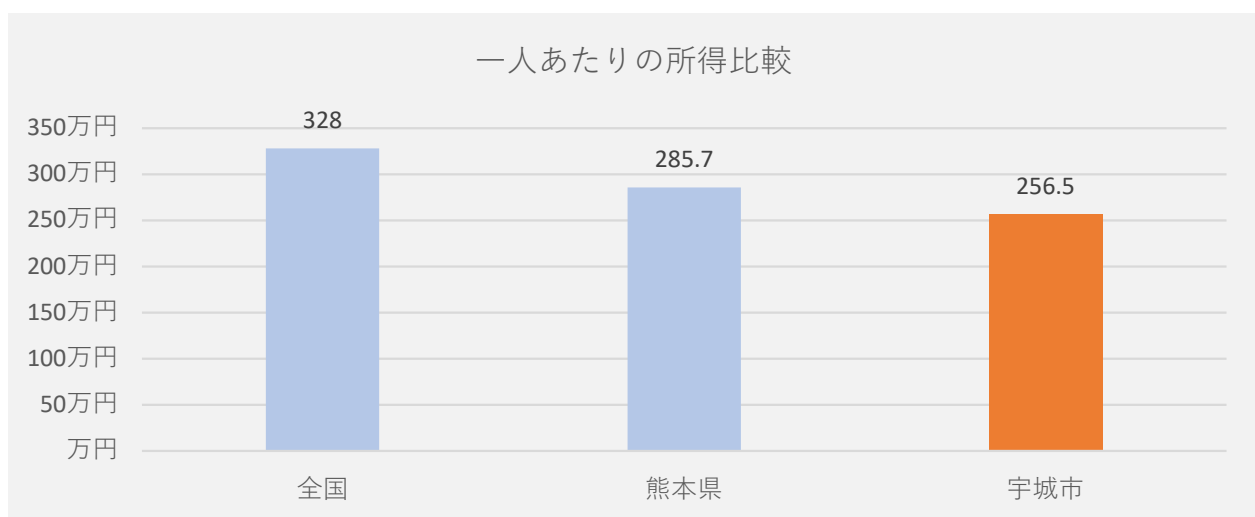


図2 一人あたりの所得比較

※内閣府「2022年国民経済計算」、熊本県課「市町村民経済計算(令和4年度)」より作成

就労構造における男女格差

本市の就労状況は性別による労働力の乖離が顕著である。

男性が20代から50代にかけて安定した労働力を維持する一方で、女性が出産、育児期にあたる30代において労働力が低下する「**M字カーブ**」が依然として残存している。

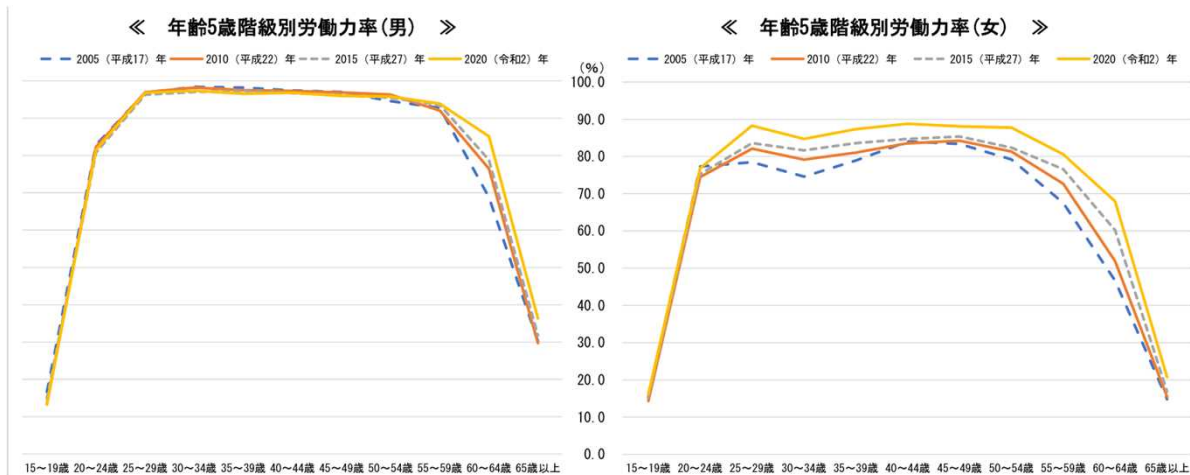


図3 男女別年齢5歳階級別労働力

※宇城市の基礎データ集より引用

就労構造におけるミスマッチ・潜在的労働力の存在(所得0円層396人)

また、労働市場における課題の1つが「求人ニーズと求人案件のミスマッチ」である。

ハローワーク宇城のデータによれば、市内の有効求人倍率は全体で1.13倍あるのに対し、希望者が多い一般事務職は0.50倍と極めて厳しい状況にある(※ハローワーク宇城 一般職業紹介状況(令和8年2月)より引用)。

また、熊本労働局『くまもと職業安定業務月報(令和7年5月分)』によると、求職者全体に占める女性割合は48%である一方、事務職希望者に占める女性割合は76%となっている。

多くの女性が事務職を志向しながらも、実際にはポストが不足しており、この需給の不一致が、女性の低所得化や離職状況の長期化を招く一因となっている。

こうしたミスマッチや、出産・育児等による就労の分断(M字カーブ)の結果、本施設の主なターゲット層である20代、30代で配偶者の扶養に入り**所得が0円の人は396人(かつ、15歳以下の子どもがいる人は310人)**存在している。

宇城市の課題整理

課題① 20～39歳女性の人口流出

都市部への進学・就職を機に流出した若年層が、ライフステージが変わる段階でも本市へ戻らない、とどまらない現状がある。出産・子育ての中心世代である20～39歳女性の転出抑制が課題である。

課題② 地域間および性別による所得格差

本市の一人あたりの所得は全国、熊本県と比較して開きがある。
また、男性に比べ女性はライフイベントを機に正規雇用から離脱する割合が高い。

課題③ 労働環境におけるミスマッチ

全体の有効求人倍率が1.13倍に対し、女性の求職者が多い事務職が0.50倍と極めて低い。

課題④ 「所得0円層」約400人の存在

現在の雇用環境(時間・場所の制約)や育児、介護などにより働きたくても働けていない可能性がある。

施設整備の目的と基本的役割

本事業の目標

本事業は、「宇城市の課題整理」で掲げた4つの構造的課題(若年層流出、所得格差、労働ミスマッチ、潜在的労働力)を打破するため、以下の2つを大きな目標として掲げる。

Goal 01 労働人口の拡大(働く機会の創出)

多様な働き方を提示し、労働市場から離れていた層の再起動を促すことで、市全体の働く力を底上げする。

Goal 02 市民所得の向上(「稼げる」環境の整備)

低所得・非正規雇用に留まらない、高付加価値な就労機会を創出することで、全国水準の所得獲得を目指す。

これらの目標の達成に向け、その阻害要因となっている以下の3つのハードルの解消に取り組む

1 心理的ハードルの解消(社会との接点の構築)

○ 仮説

長期間の離職や育児により社会から孤立し、「自分になにができるのか」という不安が就業を阻害している。

○ Community創発機能

境遇が似通った利用者同士の「横のつながり」を創出する。
互いに励ましあえる環境が、社会的自立や働く意思を刺激する。

2 技術的ハードルの解消(企業が求めるスキルの習得)

○ 仮説

働きたい意欲はあるが、既存の雇用形態(フルタイム等)には適合できず、在宅や短時間で稼げる「武器(専門スキル)」が不足している。

○ Career-up支援機能

育児等の隙間時間を活用し、実践的な企業が求める業務スキル(デジタルスキル等)を伝授し、個人の稼ぐ力を最大化させる

3 環境的ハードルの解消(ライフスタイルに合う働き方の実装)

○ 仮説

都市部企業のような若年層が希望する仕事が少ないことや、通勤が困難なことが就業を断念させる要因となっている。

○ Lifestyle適合機能

「都市部の仕事を宇城市で完結させる」ための通信環境・ワークスペースを整備する。
これにより、働き方の選択肢を飛躍的に増やし、自分のライフスタイルに合う環境を実現する。

UKI CAREER Hub.

宇城市キャリアアップ支援施設

CONCEPT

Connect, Learn, and Fit — 宇城市で描く、新しい自分のキャリア —

これからの可能性を広げ、自分らしい未来や理想のキャリアに挑戦したいと願うすべての人をコミュニティで支え(Connect)、デジタルスキルを付与し(Learn)、自分のライフスタイルに合ったキャリアを形成(Fit)することで、一人ひとりの確かな収入アップと、宇城市で自分らしく暮らし続ける未来を実現する。



※画像はイメージです

VISION 目指す姿

地方でも輝ける生活を

- 都会でしか得られなかった最先端の仕事を宇城市で実現
- 子育てしながら自己実現を諦めない社会へ

MISSION 果たすべき役割

働きたい場の創出と キャリアアップの伴走支援

- 時間的制約があっても学べるスキルプログラムを提供
- 学びを就労に結びつけ、所得向上と充実したライフスタイルを実現

■ UKI CAREER Hub.がサポートする「これからの主役」

仕事と生活のベストバランスを作りたい方

時間の制約（育児や介護など）があっても、キャリアを諦めずに両立を目指す方

手に職をつけて 選択肢を広げたい方

基礎からデジタルスキルを習得し、新しい働き方にチャレンジしたい方

宇城市で理想のライフスタイルを叶えたい方

「今のキャリア」から一歩踏み出し、自分の理想のライフスタイルに合う仕事に出会いたい方

CHAPTER 2

施設の基本方針

基本方針 4か条

01

リスクリング環境の提供

イオンモール宇城内という**生活動線上に設置**することで、買い物や送迎のついでに立ち寄れる環境を実現。物理的・心理的な学習ハードルを最小化し、日常の中に「学び」を組み込みます。

02

高所得・安定就労への出口戦略

「学んで終わり」にせず、専門マネージャーが案件提供から企業マッチングまでを伴走支援。**年間100～250万円**の所得獲得を目指す具体的なキャリアパスを提示し、経済的自立を後押しします。

03

ロールモデルの創出

成功した「先輩」の姿を可視化し、地域全体に**挑戦の連鎖**を生み出します。育児の悩みやキャリアの不安を共有できるコミュニティを運営し、孤立を防ぎながらモチベーションを維持します。

04

民間企業との連携による就労機会の最大化

SAPやカスタマーサクセス（CS）など、**市場ニーズ**を反映した教育プログラムを提供。提携企業と共に、リモートワークやワークシェアリングなどの柔軟な雇用形態を地域へ実装します。

施設が備える機能

1. つながりやすさ (Connect/community 創発機能)

【心理的ハードルの解消】

境遇が似通った利用者同士の「横のつながり」を創出する。互いに励ましあえる環境が、社会的自立や働く意思を刺激する。

【施設機能】

- **コミュニティマネージャーの常駐**
利用者同士を繋ぐ仲介役となるスタッフの配置
- **カフェスペース**
利用者同士が交流できるカフェスペース
- **チャレンジボード**
利用者の得意なこと助けてほしいことを掲示、スキル交換や会話のきっかけを誘発
- **シェアライブラリー**
ビジネスや暮らしに関する書籍を持ち寄り、知識を共有する本棚
- **コミュニティイベント**
夜間や休日に地域コミュニティや利用者コミュニティのイベントを開催する場所として提供
- **「ママ(パパ)友」キャリア談話会・子連れOK日の設定**
育児の悩みを共有しつつ、「働きたい」という気持ちを温める場

2. 学びやすさ (Learn/Carrer-up 支援機能)

【技術的ハードルの解消】

子育てなどをしながら隙間時間に自宅で取り組める、スキルを伝授することで働き手を増やす。

【施設機能】

- **デジタルワーク・リスキリング講座**
Webデザイン、動画編集など在宅、短時間でも働けるスキルを伝授する講座
- **セミナースペース**
最大15人で講座を受けれるスペース
- **相互学習**
利用者同士での教え合い、アウトプットすることで理解を深める勉強会の開催
- **マネージャーの常駐**
PC関係の使用がわからないなどの小さなつまづきを即座に解消する技術支援スタッフの常駐
- **ポートフォリオ作成支援**
仕事を獲得するために不可欠な「自分の実績」を支援
- **eラーニング・セルフ学習スペース**
自分のペースで学べるオンライン教材の提供と集中して学習できる環境の整備

3. はたらきやすさ (Fit/Life style 適合機能)

【環境的ハードルの解消】

都市部の仕事を市内で完結させる状態を整備することで働き方の選択肢が増えて、働きたい人が働ける環境整備につながる。

【施設機能】

- **業務マッチング**
スキル習得後に出口(就労先)の紹介
自分のスキルに合った就労のマッチング
- **職住近接**
イオンモール内の保育施設と連携し業務に没頭できる環境の整備
- **ワークスペース、個人作業ブース**
講座の受講だけでなく、就労後も働ける環境を提供
- **キャリア形成の相談**
子育てや介護など制約が多い利用者のために今後のキャリア形成に向けた相談会の実施
- **インターン制度の紹介**
就労先の企業への就労を想定したインターン制度の実施
- **お試し用PCレンタル**
施設の利用を検討している方向けのPCなどのレンタル

施設概要・ゾーニング（案）

所在地

イオンモール宇城 シネマ棟1階

総面積

337.21 m²

開設予定

2026年(令和8年)11月



主要設備



セミナールーム

大型モニター完備
オンライン配信対応



カフェ機能

交流促進
リラックス空間



ワークスペース

コワーキングスペース
個人作業スペース



交流スペース

交流促進



特筆すべきポイント



生活動線上の好立地
(イオンモール内)



子育て中でも安心の環境
(子連れOK日、イオン内の保育園との連携)



オンライン・オフライン
の融合
(柔軟な講座形態)



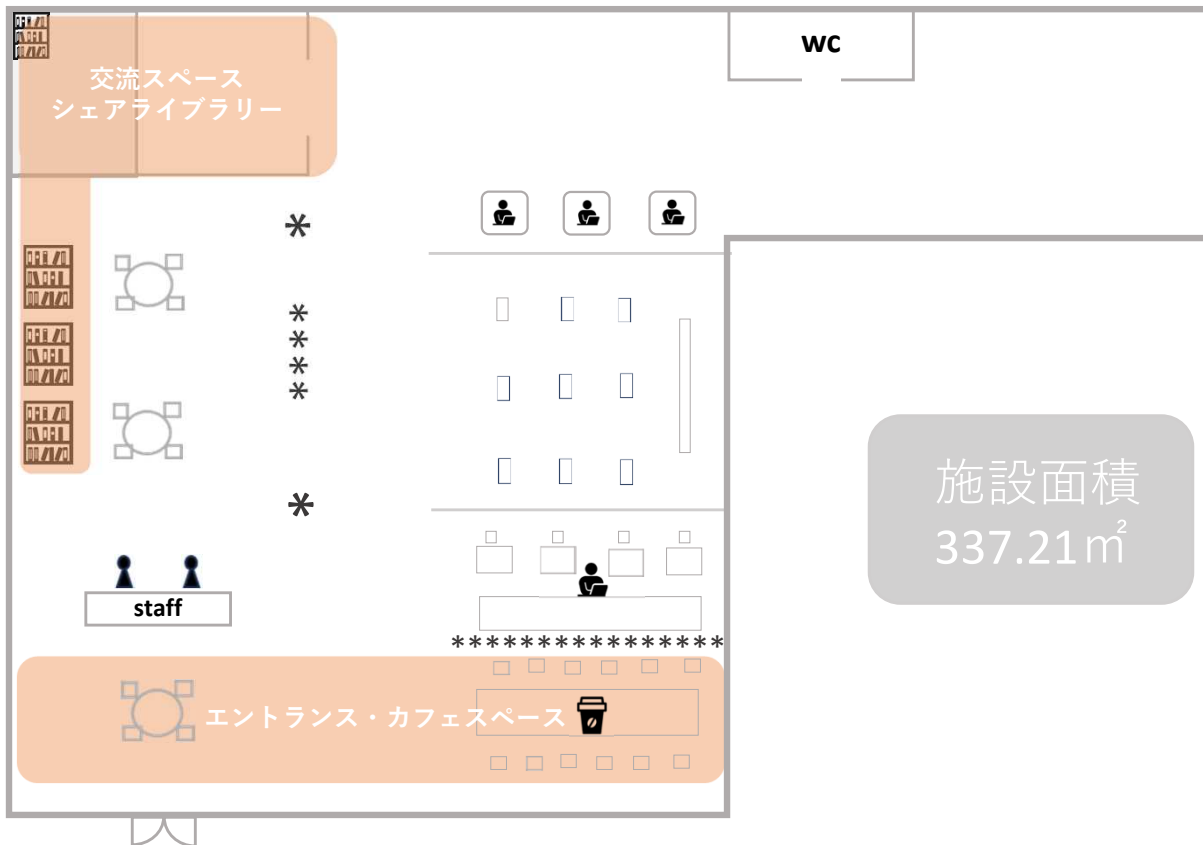
学びが就労に直結する実
践環境
(出口戦略の確立)



カフェ機能での立ち寄りやすさ
(コミュニティ形成)

施設概要・ゾーニング（案）

Community創発機能



カフェスペース

コーヒーサーバーを設置。
カフェのような空間で作業を行ったり、
利用者同士が交流できるスペースとして提供。

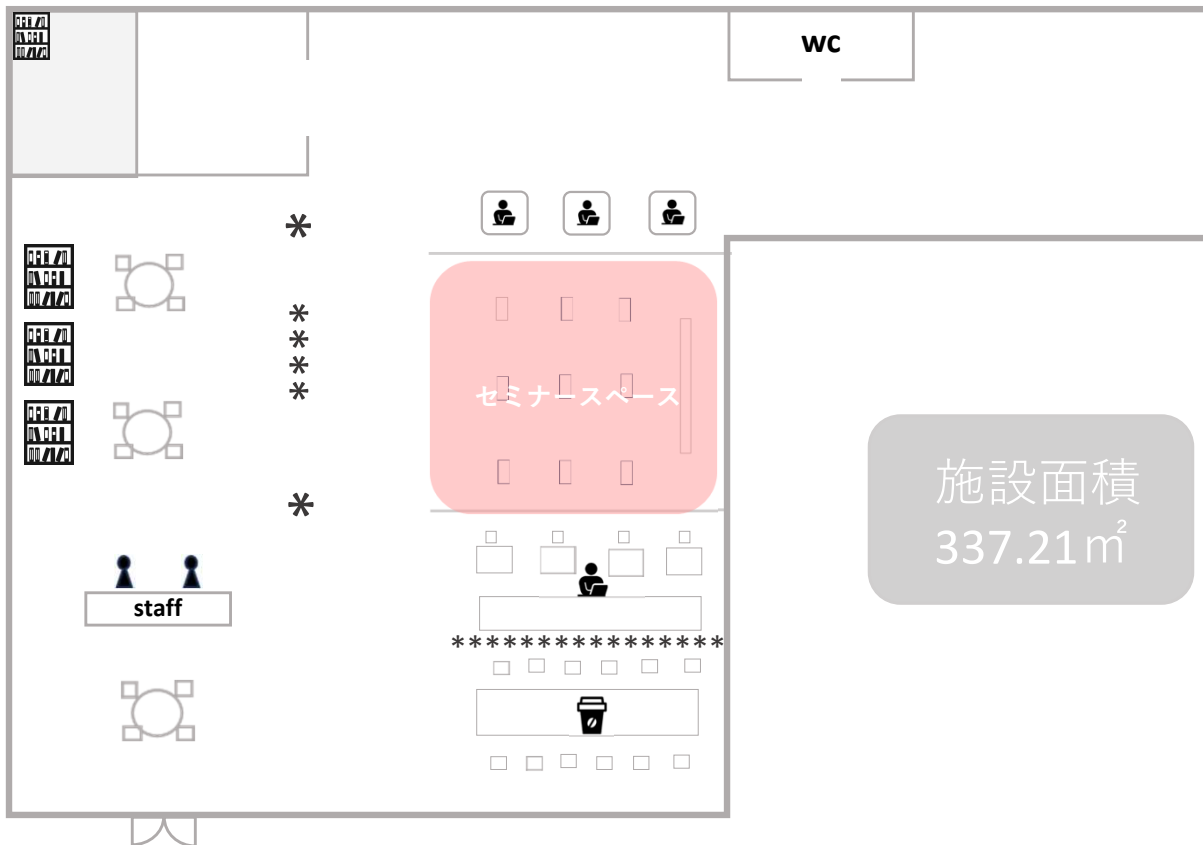


交流スペース/シェアライブラリー

利用者同士の交流の場として、カフェ機能よりリラックスした空間。
子連れOKの日にはキッズスペースとしての利用も想定。
交流促進のためのシェアライブラリーの設置。

施設概要・ゾーニング（案）

Carrer-up支援機能

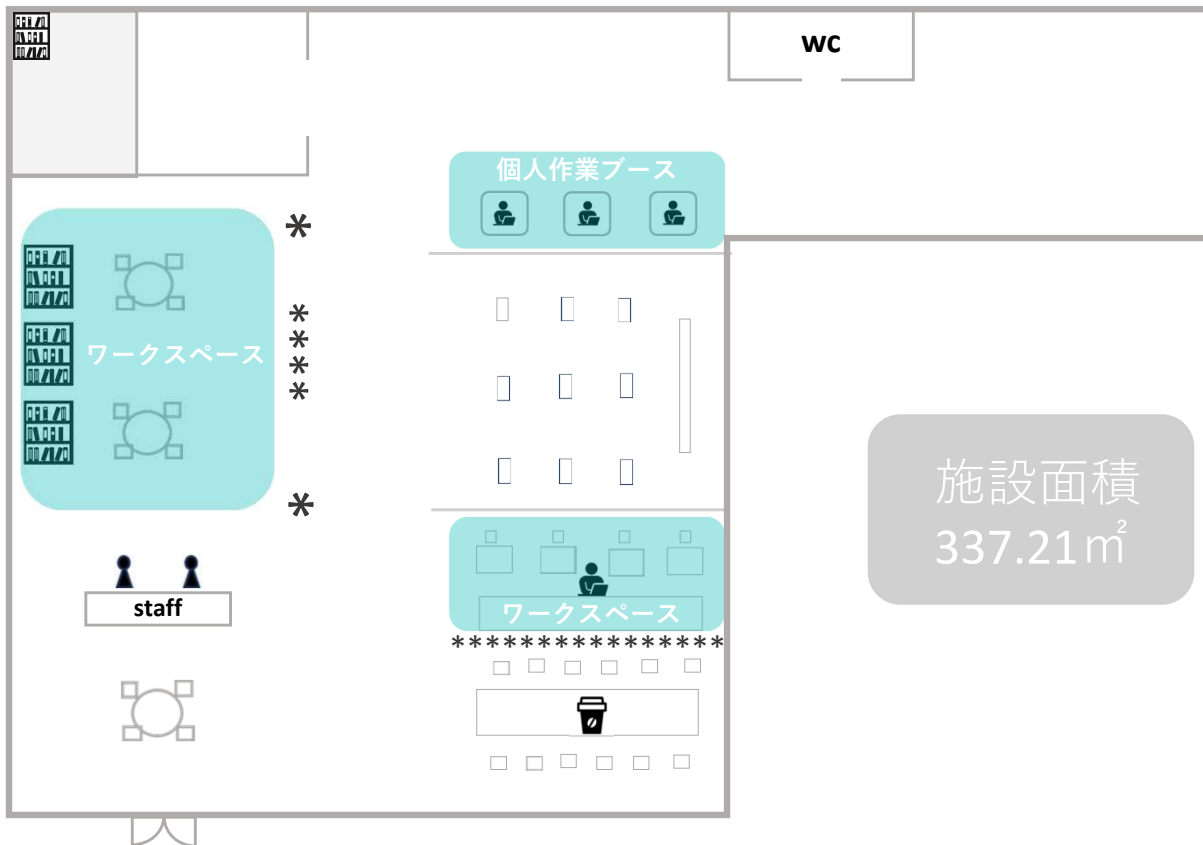


セミナースペース

最大15名で受講可能なセミナースペース
セミナー時間外にはワークスペースとしても利用可能。
就労以外にも利用者ニーズに合わせた講座、セミナーを開催。

施設概要・ゾーニング（案）

Life style適合機能



個人作業ブース/ワークスペース

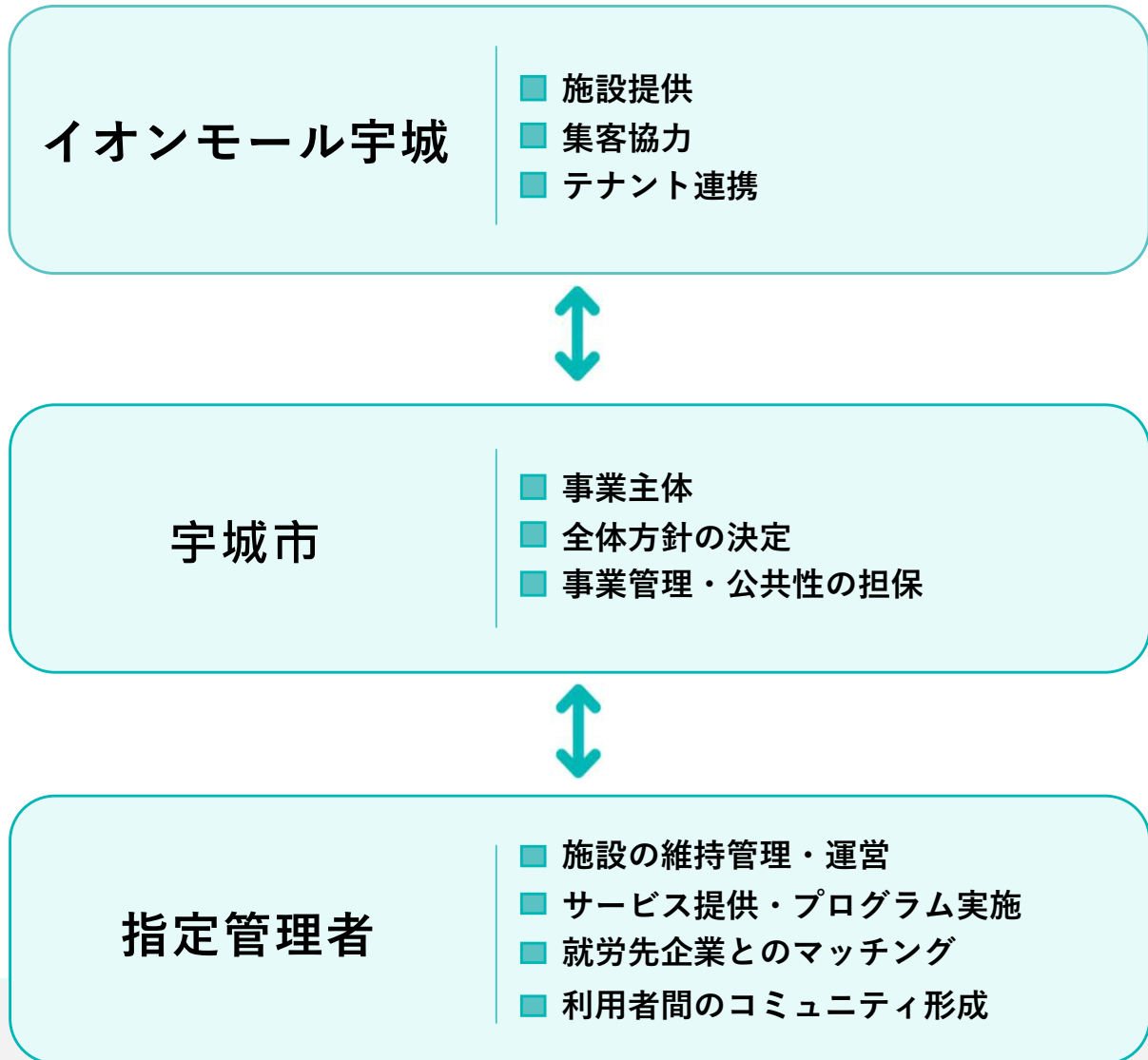
就労後も施設を継続して利用できるようにワークスペースを整備。
受講者以外にもコワーキングスペースとして利用可能。
WEB会議や集中して作業を行える個人作業ブースも完備。

CHAPTER 3

運営体制と 連携施策

想定運営体制（産学官連携）

行政、指定管理者、民間事業者がそれぞれの強みを活かし、効率的かつ持続可能な事業運営を実現する体制を構築する。



産学官連携

- | | | | |
|--------|---------------------|-------------|--------------|
| ■ 九州大学 | ■ (株) CCC | ■ 連携協定締結企業 | ■ 市内企業 |
| 施設設計 | 創業支援、
不知火図書館との連携 | 新規講座
就労先 | 就労先
地域DX化 |

施設開設後も連携の幅を広げていく



アウトリーチ施策案（4フェーズ）

Phase 1 認知

-  イオンモール内ポップアップ
-  各種メディアでの放映・紹介
-  SNS運用（Instagram・X）
-  広報誌・市公式LINE







Phase 2 関心醸成

-  無料相談講座の実施
-  施設見学会・オープンデイ
-  修了者による体験談イベント
-  子連れOKオープンデイ



Phase 3 行動促進

-  初月受講料割引・商品券特典
-  友人紹介制度の導入
-  受講者コミュニティ（LINE）
-  継続的な面談



Phase 4 定着・継続

-  就労後のフォローアップ面談
-  卒業生コミュニティ運営
-  企業マッチングイベント
-  ステップアップ講座

想定プログラム・コワーキング

📌 想定プログラム

企業ニーズや利用者のスキルに合わせたプログラムを準備

プログラム名	主な内容	想定期間
 CS・オンラインサポート	顧客対応・オンボーディング・BPO業務	3ヶ月
 Webデザイン基礎～応用	HTML/CSS・Figma・バナー作成	3ヶ月
 AI基礎～応用	LP作成・プログラミング	3ヶ月
 SAP等高付加価値スキル	都市部企業ニーズに直結する専門スキル	応相談
 IT基礎・事務DX	Excel・クラウドツール活用業務効率化	1ヶ月

※想定プログラムであり、実際のプログラム詳細については順次決定

🎓 料金設定

受講料金はプログラムのコース別で設定予定。

🗨️ コワーキング機能

プログラム時間外には会員制又はドロップインによるコワーキング施設として利用可能

施設利用前後のフロー (支援フロー)

STEP 1 入口：個別カウンセリング

子育て経験者等のマネージャーが対応
スキル・ライフスタイル・目標所得に応じた
「個別キャリアロードマップ」を作成



STEP 2 学習：リスキリング

デジタルスキル講座を受講
コミュニティ参加でモチベーション維持
定期的な面談で進捗確認



STEP 3 出口：企業マッチング・就労

都市部IT企業等と提携した求人・業務委託案件を紹介
年収100～250万円の所得向上を目指す



STEP 4 定着：就労後フォロー

就労開始後も継続的なサポート
育児との両立等の課題を伴走支援
離職防止・ステップアップを推進



伴走型マネージャーが全フェーズを支援



地方でも 輝ける生活を

持続可能なキャリアをデザインする拠点

UKI CAREER Hub. が実現する3つの価値

1



つながりやすさ

産学官連携体制

コミュニティマネージャー常駐

利用者コミュニティ形成

2



学びやすさ

イオンモール内の好立地

伴走支援

オンライン・オフライン融合

3



働きやすさ

デジタルスキル習得

リモート就労・案件提供

フォローアップ支援